

窓フォト

操作マニュアル

2022 年 08 月 04 日 発行版

ワンタッチソフト

<https://www.otsoftware.net/>

もくじ

はじめに.....	4
著作権等の権利関係について.....	4
不具合等について.....	4
範囲選択をする基本的な使い方.....	5
キャプチャする範囲を選択する.....	5
キャプチャ範囲を 1 ピクセル単位で微調整する.....	6
キャプチャを実行する.....	6
「キャプチャ画像の編集と保存」画面から保存する.....	7
各キャプチャ機能.....	8
範囲内をキャプチャ.....	8
デスクトップ全体をキャプチャ.....	8
範囲内を連続キャプチャ.....	9
デスクトップ全体を連続キャプチャ.....	9
ウェブページキャプチャ.....	10
クリップボードキャプチャ.....	11
キャプチャ画像の編集と保存.....	12
画像を保存する.....	12
Twitter に投稿する / ワンタッチソフトクラウドにアップロードする.....	13
線を引く、文字を書く.....	14
スタンプを押す.....	15
GIF アニメーションの作成.....	16
設定項目.....	17
設定画面による設定.....	18
「キャプチャの設定」タブ.....	18
「クリップボードキャプチャの設定」タブ.....	21
「動作の設定」タブ.....	22
「通知の設定」タブ.....	28
「保存の設定」タブ.....	29
「クラウドの設定」タブ.....	31
Twitter に投稿するための設定.....	33
1. ワンタッチソフトクラウドのアカウントを作成する.....	33
2. ワンタッチソフトクラウドアカウントと Twitter を連携させる.....	34
メニューからの設定変更について.....	35
お気に入りサイズ・位置.....	36

その他の便利な操作等.....	37
メニューバー背景色の変更.....	37
クリップボードコピー設定のワンタッチ切り替え.....	37
自動保存設定のワンタッチ切り替え.....	37
こんな風に使いたい.....	38
キャプチャした後、保存画面を出さずに勝手に保存してほしい.....	38
いつもは窓フォトの画面を隠しておいて、使いたいときだけサッと表示させたい.....	38
お問い合わせ等について.....	39

はじめに

この度は、画面キャプチャソフト「窓フォト」をダウンロードいただき誠にありがとうございます。

このソフトウェアは、直感的な矩形範囲選択により、画面上の任意の場所を静止画でキャプチャするフリーソフトです。

本ソフトウェアの機能を理解し、うまくご活用いただくために、ぜひ本マニュアルをお読みの上、ご利用ください。

著作権等の権利関係について

本ソフトウェアおよびその付帯物の著作権等はワンタッチソフトが保有しており、無断でのプログラムの再配布や販売、改変、リバースエンジニアリング等は固く禁止しております。

なお、本ソフトウェアでキャプチャした画像の著作権等については、原則として画像の所有者にあり、ワンタッチソフトはその著作権を主張しません。

また、本ソフトウェアで第三者の著作物をキャプチャし、それを不適切に使用すると著作権法違反に問われる可能性があります。第三者の著作権等を侵害しないようにご注意ください。

不具合等について

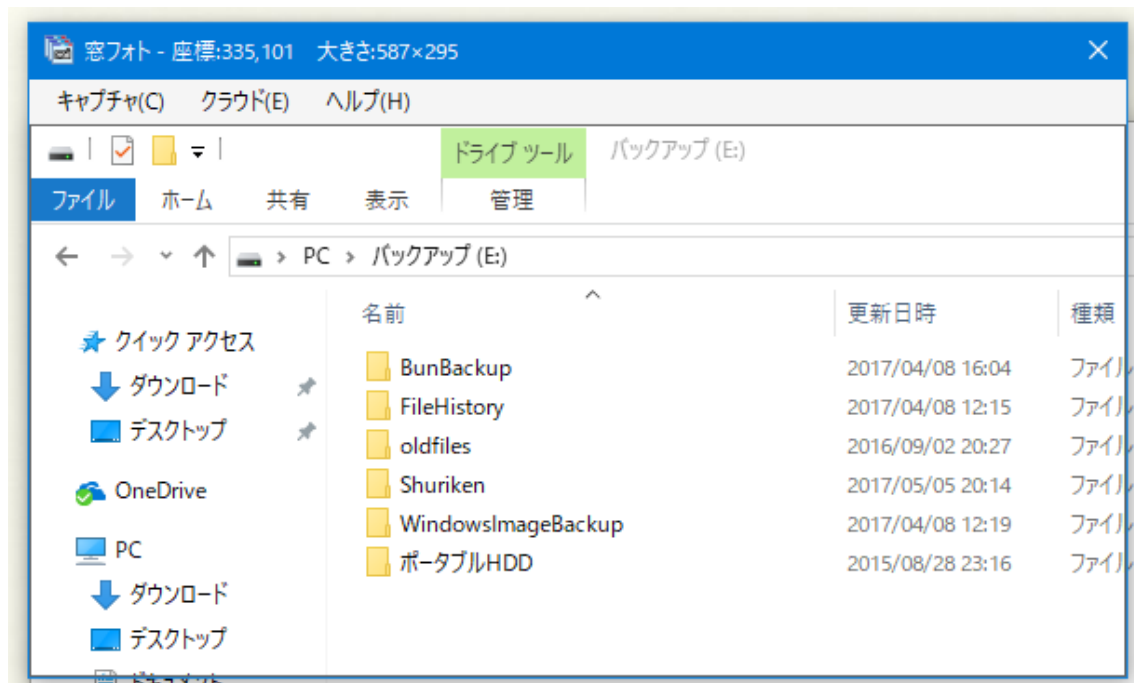
本ソフトウェアは、可能な限りのデバッグを行い、不具合の無いよう配慮した上で配布を行っております。しかしながら、一般論としてソフトウェアの不具合を完全に無くすことは難しいものであり、本ソフトウェアについても予期しない動作をする可能性があります。その結果生じた本ソフトウェアの機能不全やご利用環境におけるデータ欠損、損失等いかなる場合も責任は負いかねますので、予めご了承ください。予期しない動作等を発見した場合は、[ワンタッチソフトへのご報告](#)にご協力いただければ、早期に修正できるよう努めますので、ご協力をお願いいたします。

範囲選択をする基本的な使い方

窓フォトの基本機能である範囲選択キャプチャを行うときに必要な基本的な操作方法について解説します。

キャプチャする範囲を選択する

窓フォトでのキャプチャ範囲選択は、画面に表示された窓フォトのウィンドウそのものを移動したりサイズ変更したりして行います。囲った範囲内が、そのままキャプチャ範囲となります。



【ヒント】範囲選択をしなければならないときって？

範囲選択が必要になるのは、「[範囲内をキャプチャ](#)」と「[範囲内を連続キャプチャ](#)」を行う場合だけです。それ以外のキャプチャのときは範囲選択をする必要はありません。

キャプチャ範囲を 1 ピクセル単位で微調整する

窓フォトのウィンドウで囲う時は、窓フォトのウィンドウをマウスで動かしたりサイズを変えたりして操作できますが、マウス操作以外にも、キーボード操作により 1 ピクセル単位で緻密に窓フォトのウィンドウを動かす機能があります。

➤ 1 ピクセル単位で位置の移動

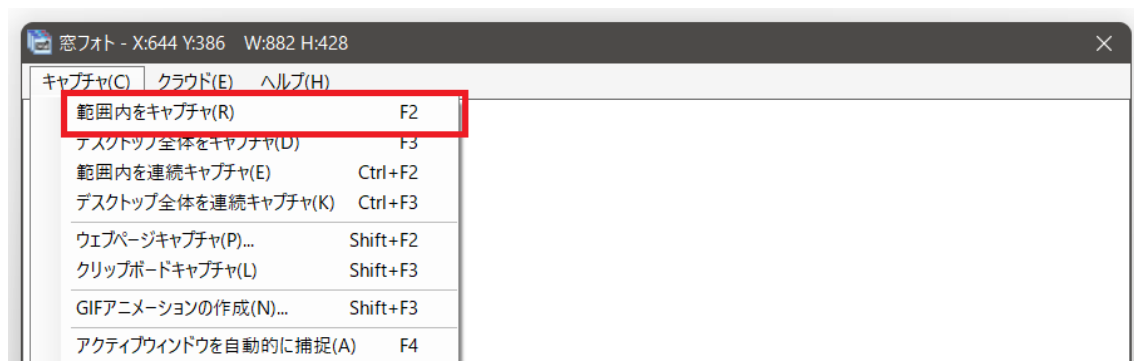
キーボードの **Alt** キーを押しながら矢印キーを押下する

➤ 1 ピクセル単位でサイズの変更

キーボードの **Ctrl** キーを押しながら矢印キーを押下する

キャプチャを実行する

窓フォトの「キャプチャ」メニューから実行したいキャプチャメニューを押下するとキャプチャを実行します。基本的な範囲選択キャプチャは「範囲内をキャプチャ」です。

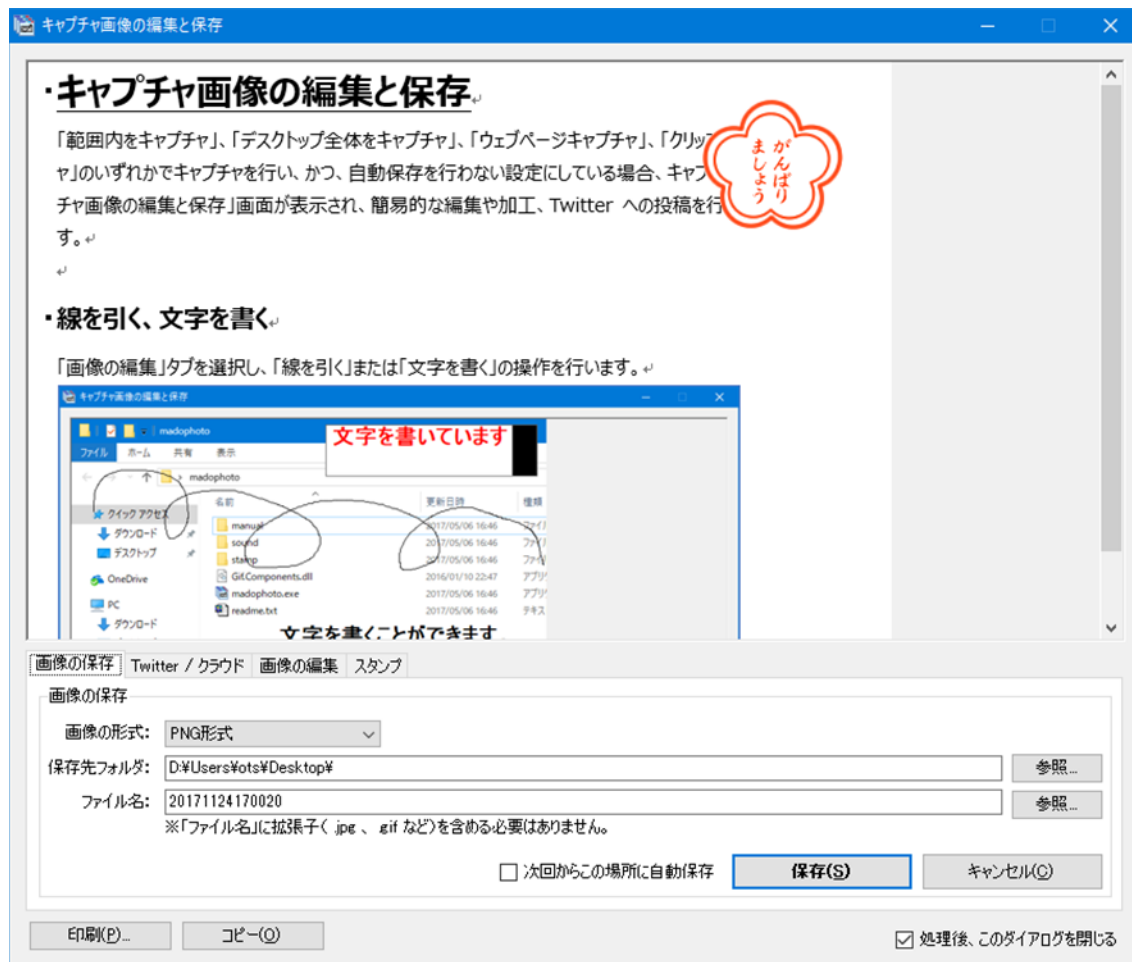


「範囲内をキャプチャ」以外のキャプチャ機能については、「[各キャプチャ機能](#)」をご覧ください。

「キャプチャ画像の編集と保存」画面から保存する

自動保存する設定にしていない場合は、キャプチャ実行後に「キャプチャ画像の編集と保存」画面が表示されます。この画面で保存先等を設定して保存を行います。

また、「クラウド」タブから、ワンタッチソフトクラウドに簡単に画像をアップロードしたり、Twitter に投稿したりすることもできます。（[設定が必要](#)）

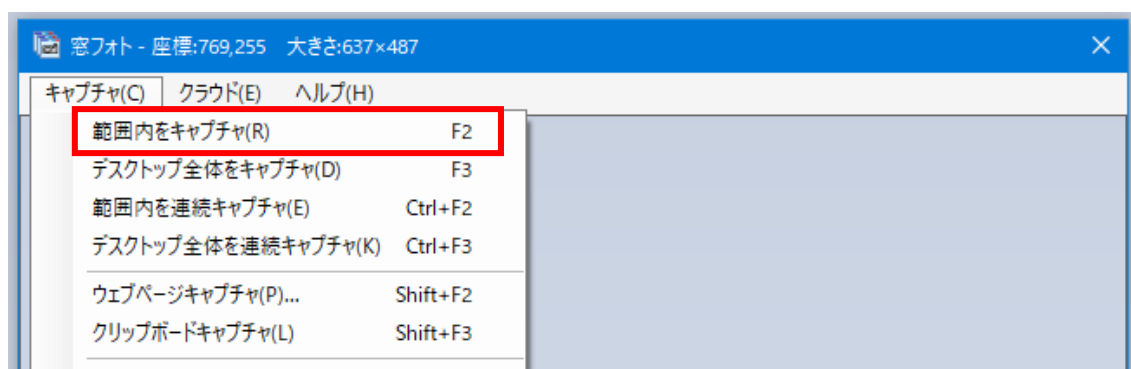


各キャプチャ機能

窓フォトには、基本となる範囲選択キャプチャをはじめ、様々なキャプチャ機能があります。

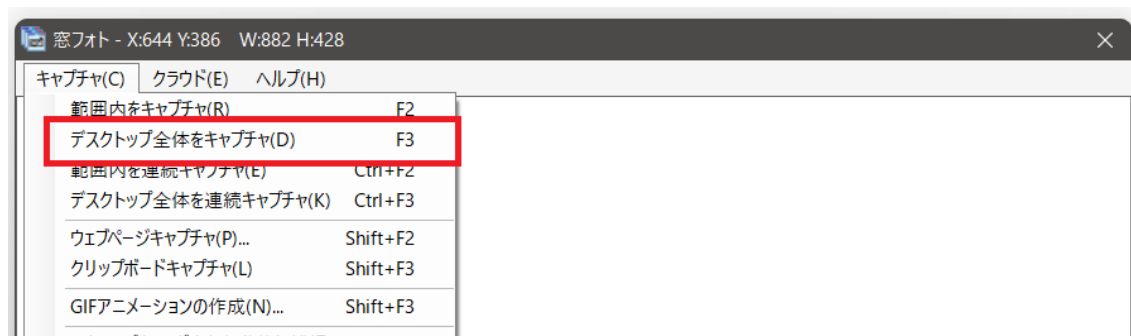
範囲内をキャプチャ

窓フォトのウィンドウで囲った部分をキャプチャする機能です。窓フォトにおける一番ベーシックなキャプチャ機能です。



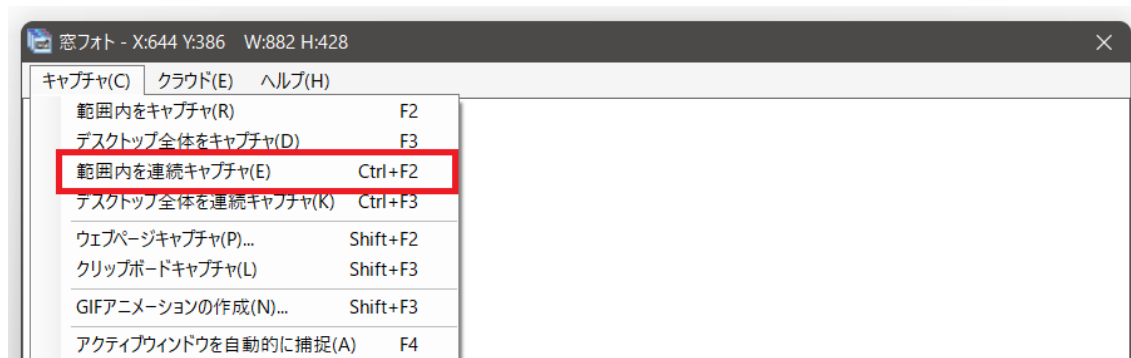
デスクトップ全体をキャプチャ

デスクトップ全体をそのままキャプチャする機能です。窓フォトでの選択範囲に関係なく、デスクトップ全体をキャプチャします。



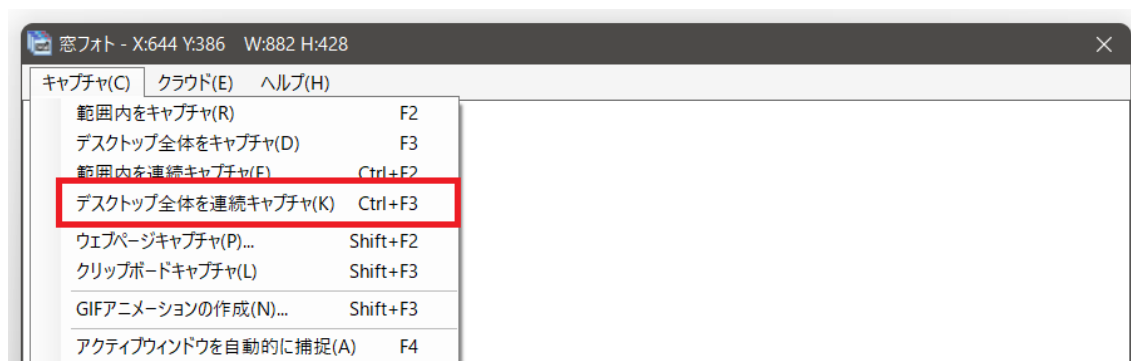
範囲内を連続キャプチャ

窓フォトのウィンドウで囲った部分を連写する機能です。この操作を行うには、[設定画面で事前に設定](#)する必要があります。



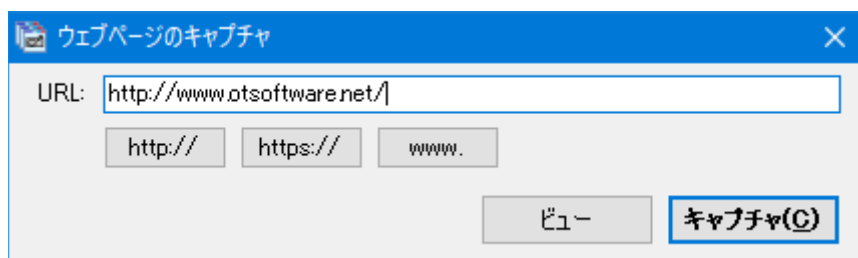
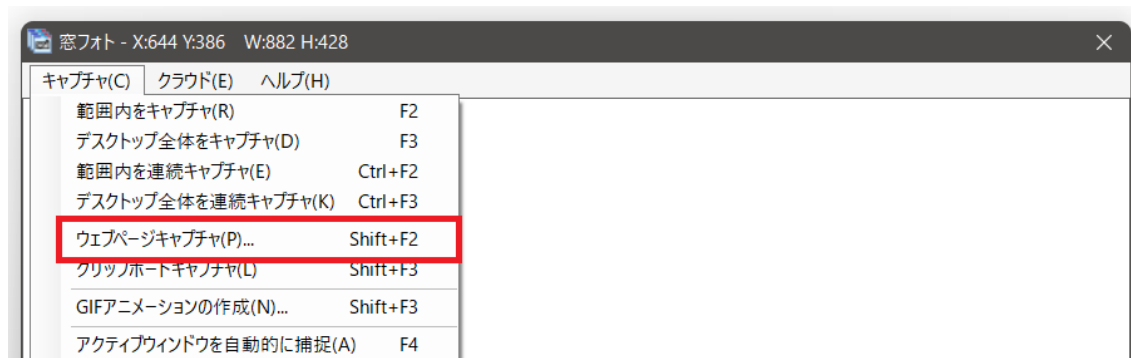
デスクトップ全体を連続キャプチャ

デスクトップ全体をそのまま連写する機能です。窓フォトでの選択範囲に関係なく、デスクトップ全体をキャプチャします。この操作を行うには、[設定画面で事前に設定](#)する必要があります。



ウェブページキャプチャ

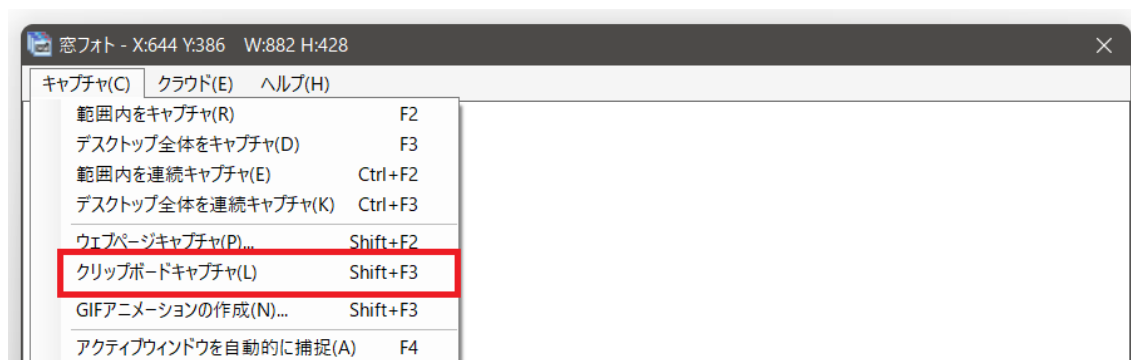
URL を指定して、ウェブページを画像としてキャプチャします。縦長のページも 1 つの画像としてキャプチャすることができます。



※フレームを使用したページやログインが必要なページなど、一部のページはキャプチャすることができません。

クリップボードキャプチャ

PrintScreenなどでクリップボードにコピーされている画像を窓フォトに取り込み、あたかも窓フォトでキャプチャした画像かのように処理を行います。窓フォトの設定に基づいて処理されます。クリップボードに画像がない場合は、何も表示されません。



【ヒント】範囲選択をしなければならないときって？

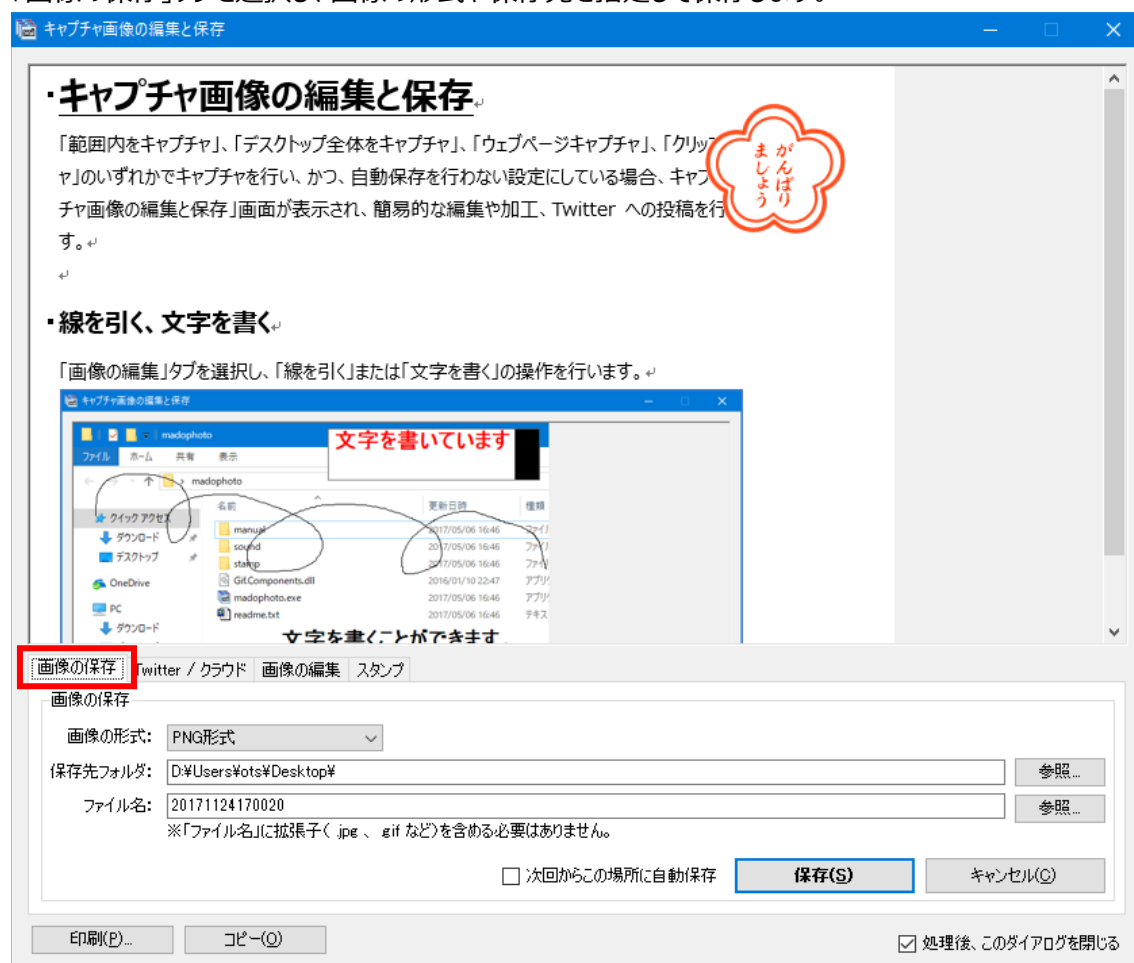
範囲選択が必要になるのは、「[範囲内をキャプチャ](#)」と「[範囲内を連続キャプチャ](#)」を行う場合だけです。それ以外のキャプチャのときは範囲選択をする必要はありません。

キャプチャ画像の編集と保存

「範囲内をキャプチャ」、「デスクトップ全体をキャプチャ」、「ウェブページキャプチャ」、「クリップボードキャプチャ」のいずれかでキャプチャを行い、かつ、自動保存を行わない設定にしている場合、キャプチャ後に「キャプチャ画像の編集と保存」画面が表示され、簡易的な編集や加工、Twitter への投稿を行うことができます。

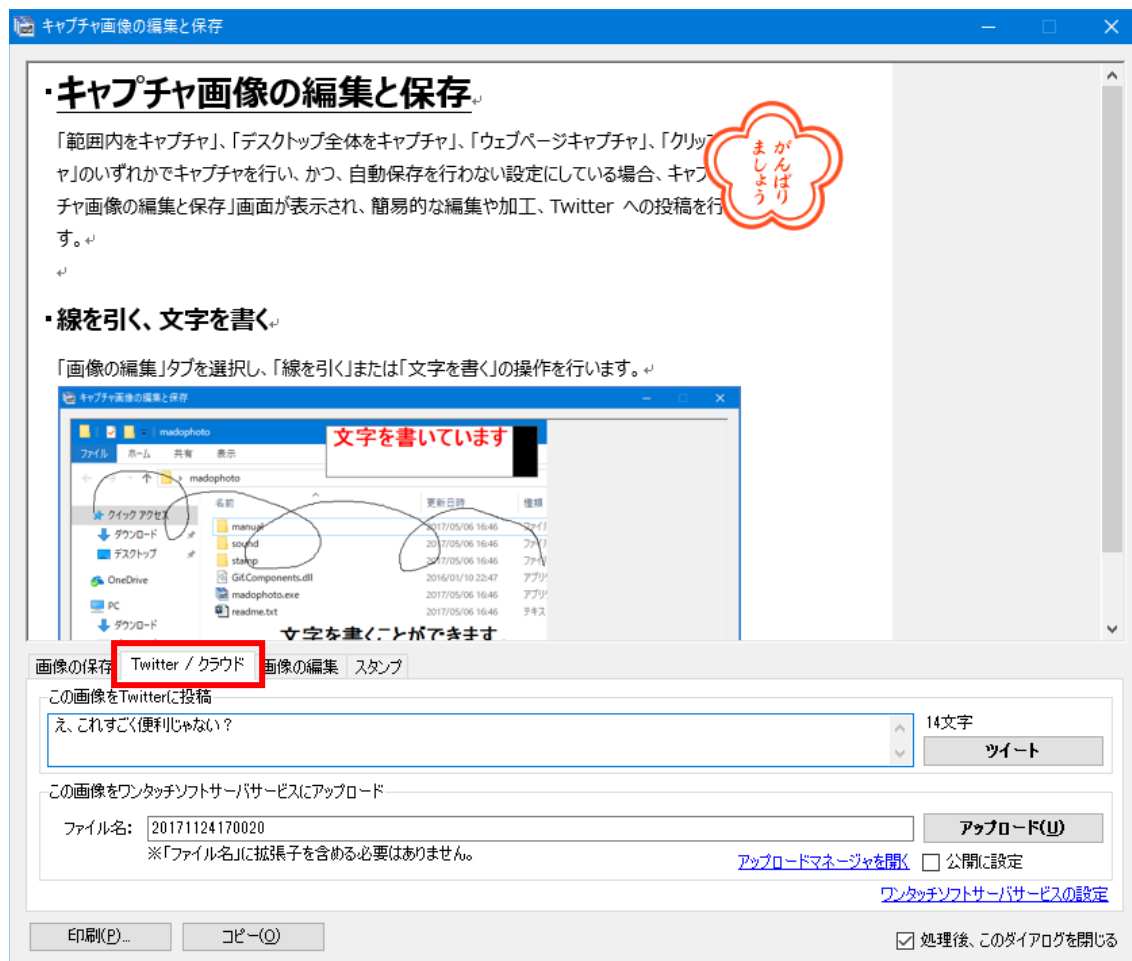
画像を保存する

「画像の保存」タブを選択し、画像の形式や保存先を指定して保存します。



Twitter に投稿する / ワンタッチソフトクラウドにアップロードする

「Twitter / クラウド」タブを選択し、キャプチャした画像の Twitter への投稿や、ワンタッチソフトクラウドへのアップロードを行います。



キャプチャ画像を Twitter に投稿したり、ワンタッチソフトクラウドにアップロードしたりするためには、事前に設定が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

「[Twitter に投稿するための設定](#)」、「[クラウドの設定](#)」

線を引く、文字を書く

「画像の編集」タブを選択し、「線を引く」または「文字を書く」の操作を行います。

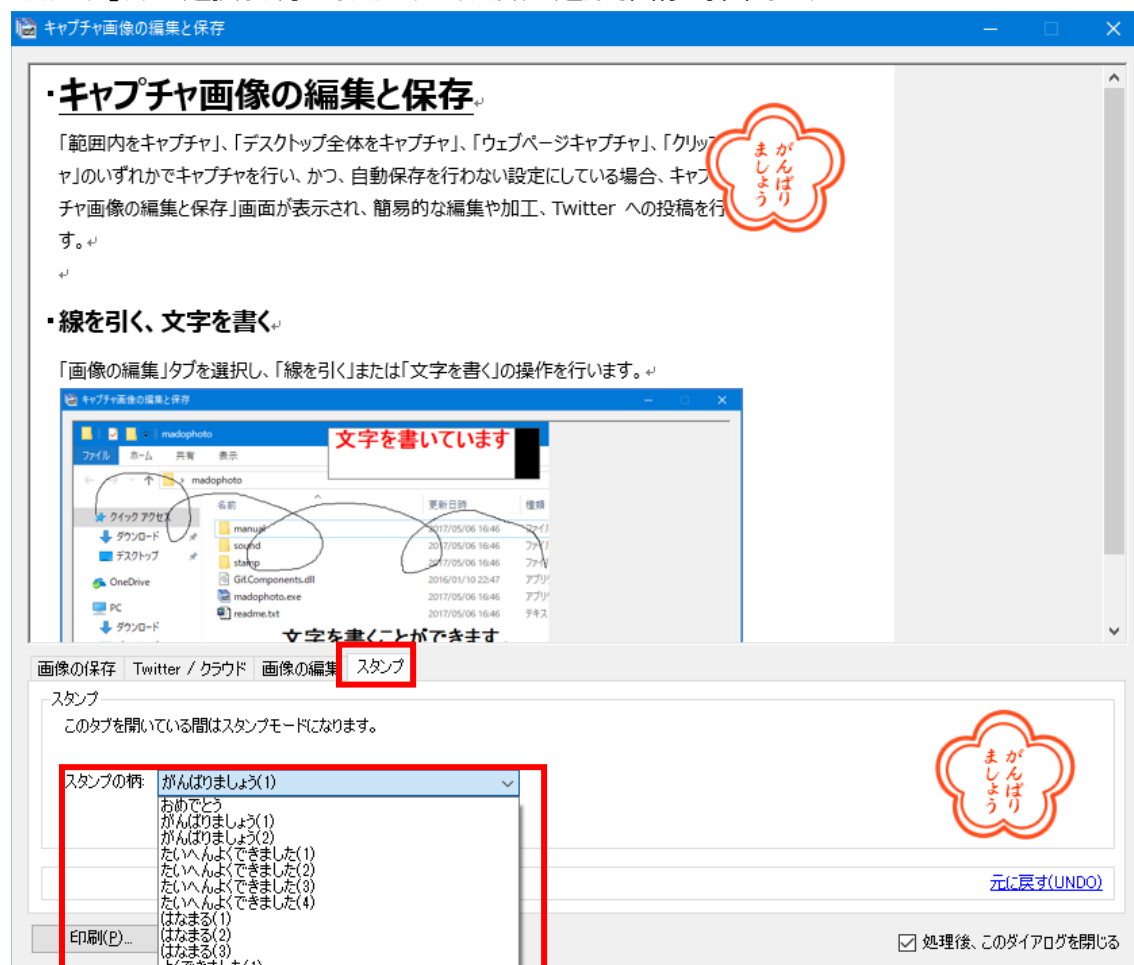


線を引く場合は、線を引きたいところをマウスでなぞります。

文字を書く場合は、画像の任意の場所を押下して文字入力ボックスを表示させて文字を入力し、**再度画像の任意の場所を押下**するとその文字が画像に合成されます。文字入力ボックスは、右端の黒い部分をマウスでドラッグすることで移動することができます。

スタンプを押す

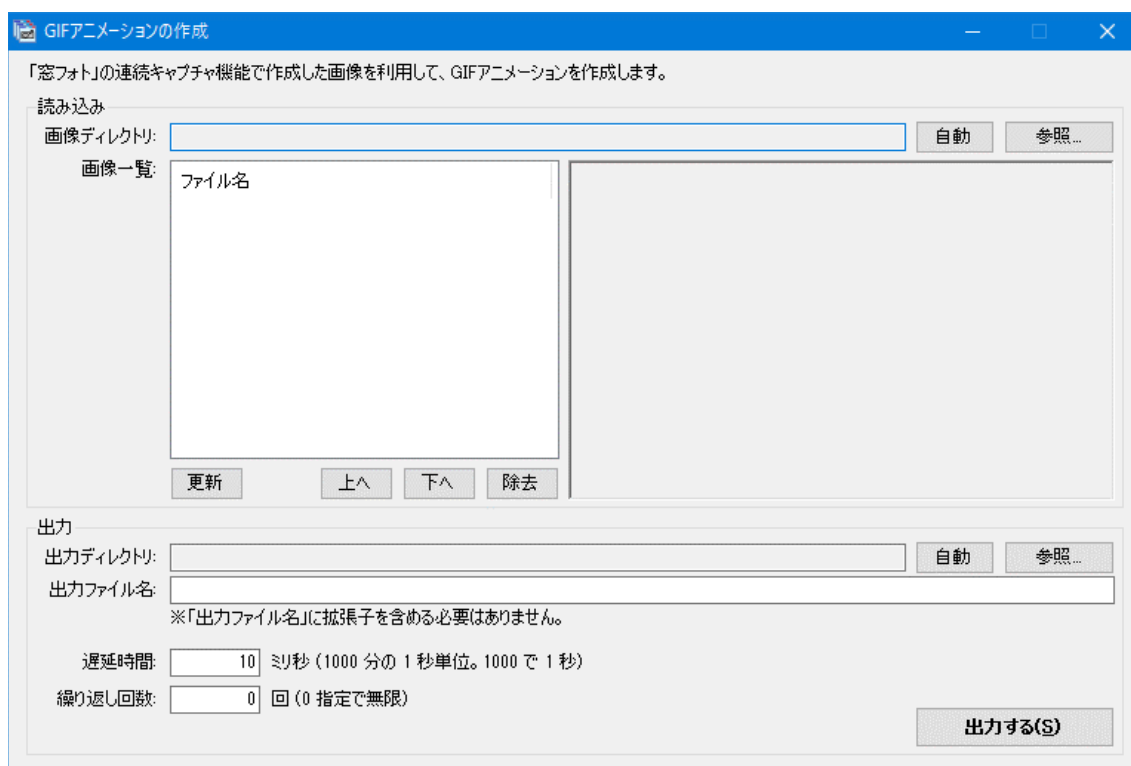
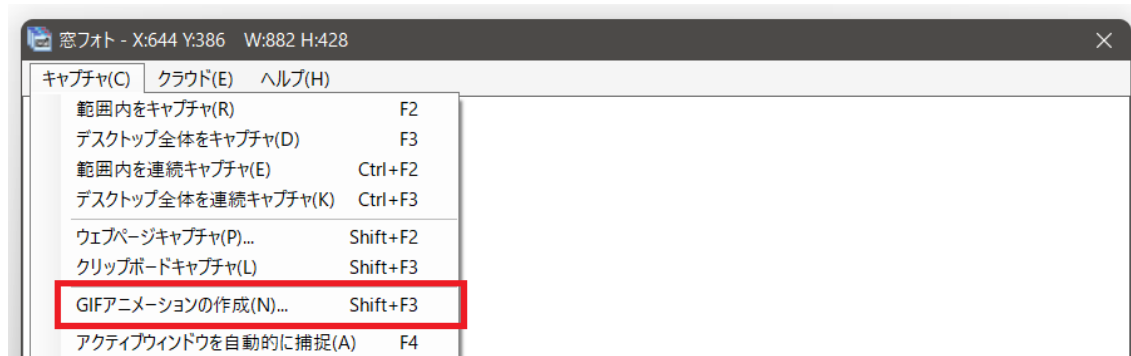
「スタンプ」タブを選択し、好きなスタンプをリストから選んで画像を押下します。



スタンプを押す場合は、画像の中でスタンプを押したい箇所を押下後、**再度画像の任意の場所（スタンプ以外の場所）を押下**することで、スタンプが画像に合成されます。スタンプは、合成前であれば、ドラッグして移動することができます。

GIF アニメーションの作成

窓フォトの連続キャプチャ機能で作成した画像をもとに、GIF アニメーションを作成することができます。



設定項目

「読み込み」グループ	
画像ディレクトリ	GIF アニメーションのもととなる画像があるディレクトリを指定します。「自動」ボタンを押下すると、設定画面で設定してある 連続キャプチャの保存先フォルダ が自動で入力されます。
画像一覧	画像ディレクトリ内にある画像が一覧で表示されます。「上へ」「下へ」を押下すると、選択した画像の順番を入れ替えます。「除去」を押下すると、選択した画像を除去します。
「出力」グループ	
出力ディレクトリ	作成した GIF アニメーションの出力先ディレクトリを指定します。「自動」ボタンを押下すると、設定画面で設定してある 通常キャプチャのデフォルトの保存先フォルダ が自動で入力されます。
出力ファイル名	作成した GIF アニメーションのファイル名を指定します。
遅延時間	GIF アニメーションの、コマとコマの切り替え間隔を 1000 分の 1 秒単位（ミリ秒単位）で指定します。
繰り返し回数	GIF アニメーションの繰り返し回数を指定します。

設定画面による設定

設定画面から設定できる、窓フォトの多彩な設定について解説します。

「キャプチャの設定」タブ

「キャプチャの設定」タブでは、キャプチャ操作に直結する設定を行うことができます。

設定

キャプチャの設定 クリップボードキャプチャの設定 動作の設定 通知の設定 保存の設定 クラウドの設定

通常キャプチャの設定

キャプチャ実行までの待機時間: 50 ミリ秒 (10 以上 64767 以下の範囲で指定)

☐ キャプチャした画像をクリップボードにコピーする

☐ 「キャプチャ画像の編集と保存」ダイアログを表示しない

☒ キャプチャ後、ダイアログを表示せずに自動的に保存する

☐ キャプチャ後、ワンタッチソフトクラウドに自動的にアップロードする

☐ 公開設定でアップロードする

連続キャプチャの設定

連続キャプチャ開始までの待機時間: 1000 ミリ秒 (10 以上 64767 以下の範囲で指定)

連続キャプチャの撮影間隔: 1000 ミリ秒 (10 以上 64767 以下の範囲で指定)

連続キャプチャの撮影回数: 10 回 (10 以上 999999 以下の範囲で指定)

ファイル名に付ける接頭辞: ren

ファイル名の連番開始番号: 000000 ☒ 連番開始番号を継続する

☐ 実行前に実行確認ダイアログを表示する

☐ 実行前に連続キャプチャの設定ダイアログを表示する

☐ 実行後にGIFアニメーションの作成ダイアログを表示する

キャプチャ方式の設定(共通)

通常の方式でキャプチャが正常に行えない場合はこの設定を利用してください。

☐ PrintScreen エミュレート方式でキャプチャする

設定情報をエクスポート

決定(A)

キャンセル(Q)

「通常キャプチャの設定」グループ	
キャプチャ開始までの待機時間	「範囲内をキャプチャ」等のキャプチャメニューを実行してから、実際にキャプチャを行うまでの待ち時間をミリ秒単位で設定します。
キャプチャした画像をクリップボードにコピーする	「範囲内をキャプチャ」、「デスクトップ全体をキャプチャ」、「ウェブページキャプチャ」において、キャプチャ実行後にキャプチャ画像をクリップボードにコピーします。
「キャプチャ画像の編集と保存」ダイアログを表示しない	「キャプチャした画像をクリップボードにコピーする」が有効の時、キャプチャした後にダイアログを表示しません。
キャプチャ後、ダイアログを表示せずに自動的に保存する	「範囲内をキャプチャ」、「デスクトップ全体をキャプチャ」、「ウェブページキャプチャ」、「クリップボードキャプチャ」を実行した際、キャプチャした画像を自動的に保存します。この保存先等の設定は、設定画面の「 保存の設定 」で行います。
キャプチャ後、ワンタッチソフトクラウドに自動的にアップロードする	キャプチャした画像を、自動的にワンタッチソフトクラウドにアップロードします。事前に、「 ワンタッチソフトクラウドの設定 」でアクセスキーとアクセストークンを設定しておく必要があります。
公開設定でアップロードする	「キャプチャ後、ワンタッチソフトクラウド（クラウド）に自動的にアップロードする」が有効のとき、誰でも閲覧できる公開モードでアップロードを行います。
「連続キャプチャの設定」グループ	
連続キャプチャ開始までの待機時間	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」メニューを押下してから、実行開始されるまでの待機時間をミリ秒単位で指定します。
連続キャプチャの撮影間隔	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」を実行したとき、何ミリ秒ごとに撮影するかを指定します。
連続キャプチャの撮影回数	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」を実行したとき、何回キャプチャを実行するかを指定します。
ファイル名につける接頭辞	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」を実行したとき、キャプチャした画像のファイル名の先頭に付く文字列を指定します。（未入力でも可）
ファイル名の連番開始番号	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」を実行したとき、キャプチャした画像のファイル名それぞれに付く番号を指定します。
連番開始番号を継続する	「範囲内を連続キャプチャ」または「デスクトップ全体を連続キャプチャ」を実行し、終了したとき、「連番の開始番号」を今回の終了時番号に更新し、次の連続キャプチャ時にその番号から始まる

	ようにします。
実行前に実行確認ダイアログを表示する	連続キャプチャの実行を開始する前に、実行確認するダイアログを表示します。

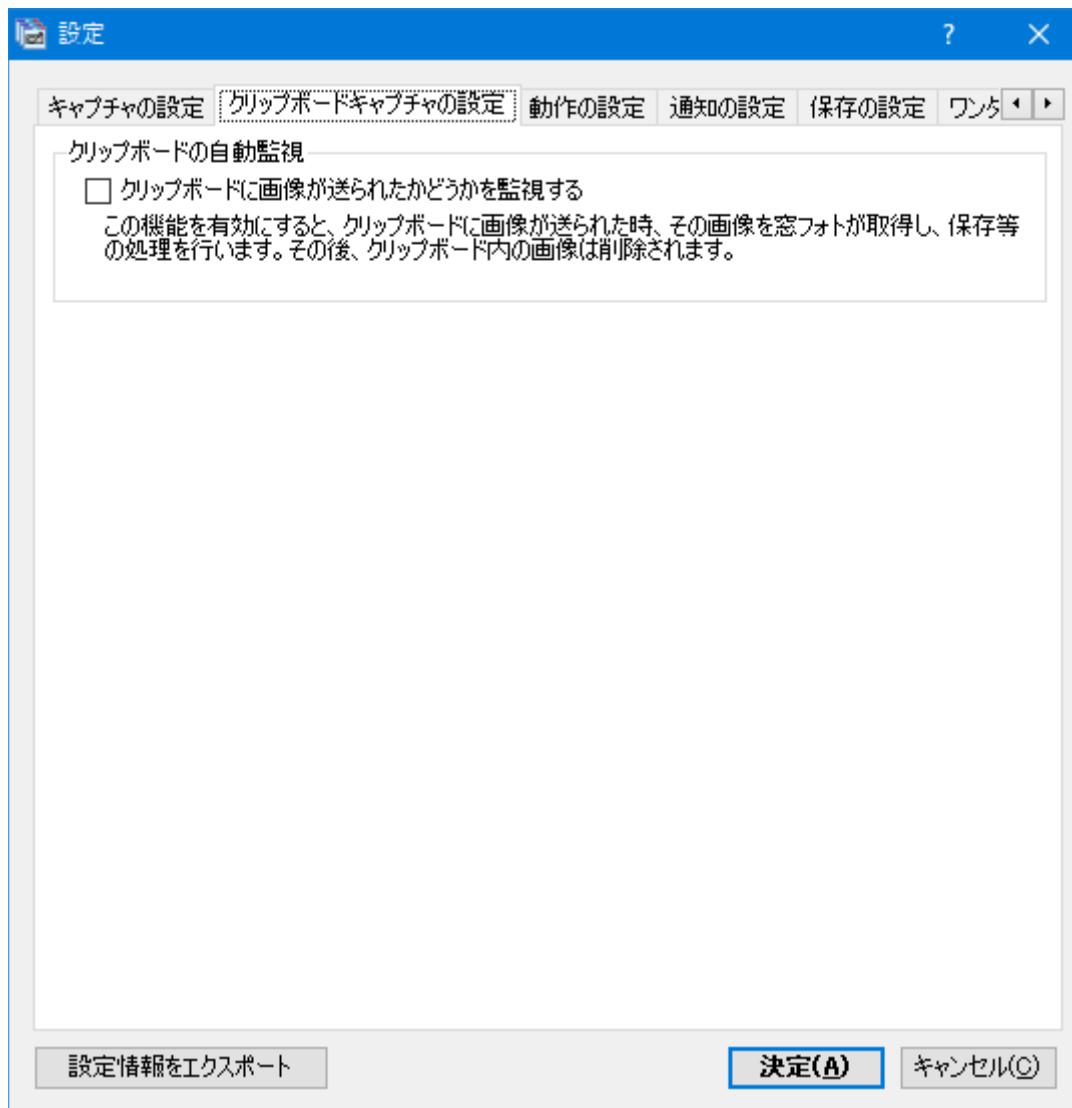
「連続キャプチャの設定」グループ（続き）	
実行前に連続キャプチャの設定ダイアログを表示する	連続キャプチャの実行を開始する前に、撮影間隔や撮影回数などを設定できるダイアログを表示します。
実行後に GIF アニメーションの作成ダイアログを表示する	連続キャプチャの実行が終わった後に、 GIF アニメーションの作成ダイアログ を自動的に表示します。この場合、GIF アニメーションの作成ダイアログには、自動的に画像が読み込まれます。
「キャプチャ方式の設定(共通)」グループ	
PrintScreen エミュレート方式でキャプチャする	キャプチャがうまく行えない場合に設定してください。通常は設定しなくても問題ありません。

【ヒント】PrintScreen エミュレート方式って？

通常は、範囲指定した部分だけを、窓フォトの独自キャプチャ機能で直接キャプチャしています。しかし PrintScreen エミュレート方式を使うと、一旦 Windows の機能である PrintScreen を内部的に実行して全画面をキャプチャした後、そこから窓フォトで範囲指定した相当の部分を切り出すことでキャプチャします。このようにキャプチャ方式が異なるため、得られる結果は同じでも、トラブルが解決することがあるのです。

「クリップボードキャプチャの設定」タブ

「クリップボードキャプチャの設定」タブでは、クリップボード自動監視に関する設定を行うことができます。



「クリップボードの自動監視」グループ

クリップボードに画像が送られたかどうかを監視する

クリップボードを監視し、画像が送られてきた場合はそれを窓フォトが自動的に取得します。取得した画像は、窓フォトの「キャプチャの設定」等の設定に基づいて処理され、「キャプチャ画像の保存と編集」ダイアログを出したり、自動保存したりします。

「動作の設定」タブ

「動作の設定」タブでは、窓フォトのキャプチャ以外の動作についての設定を行うことができます。

The screenshot shows the '動作の設定' (Action Settings) tab within the '設定' (Settings) window. The window has a title bar with a question mark and a close button. Below the title bar is a tab bar with the following tabs: 'キャプチャの設定' (Capture Settings), 'クリップボードキャプチャの設定' (Clipboard Capture Settings), '動作の設定' (Action Settings), '通知の設定' (Notification Settings), '保存の設定' (Save Settings), and 'クラウドの設定' (Cloud Settings). The '動作の設定' tab is currently selected.

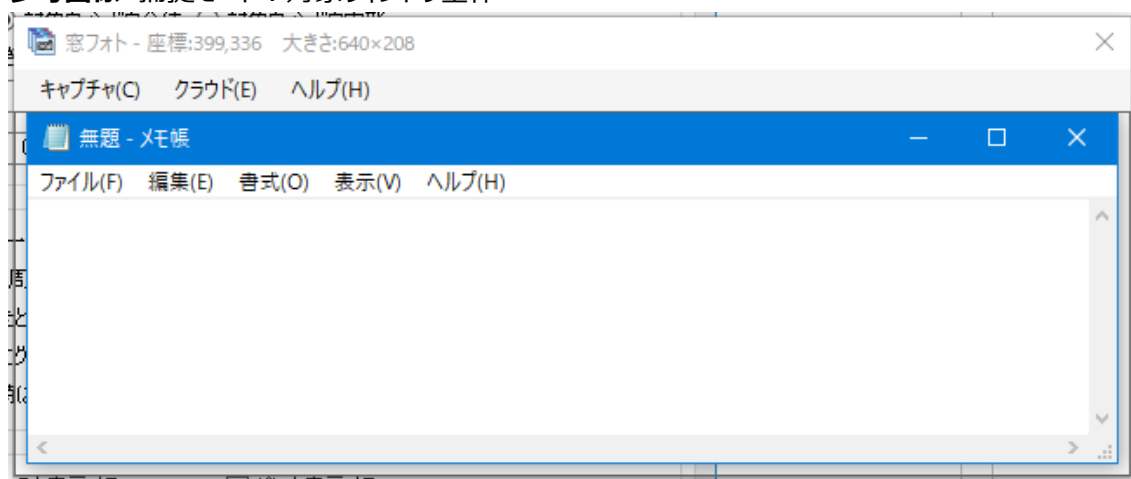
The '動作の設定' tab is divided into three main sections:

- 自動捕捉 (Automatic Capture):**
 - ☒ アクティブウィンドウを自動的に捕捉する (Automatically capture active window)
 - 捕捉モード: ☒ 対象ウィンドウ全体 (Target entire window) ☐ 対象ウィンドウ内部 (Target inside window)
 - 自動捕捉範囲の補正 (指定した数値分だけ捕捉範囲を拡大または縮小します) (Automatic capture range correction (expand or shrink the capture range by the specified numerical value))
 - 左: ピクセル (Left: 0 pixels) 上: ピクセル (Top: 0 pixels)
 - 右: ピクセル (Right: 0 pixels) 下: ピクセル (Bottom: 0 pixels)
- 動作 (Actions):**
 - ☐ マウスカーソルも一緒にキャプチャする (Capture mouse cursor together)
 - ☐ マウスカーソルの周囲に枠を表示する (Display frame around mouse cursor)
 - ☐ 枠を表示したときコメントを表示する (Display comment when frame is displayed)
 - ☐ キャプチャエリアにグリッドを表示する (Display grid in capture area)
 - ☒ キャプチャ実行時にフォーカスを制御する (Control focus when capturing)
 - ☐ 窓フォトを常に最前面に表示する (Always display window photo in front)
 - ☐ ウィンドウリサイズ時にハンドルを再生成する (Regenerate handle when resizing window)
 - ☐ 終了時のウィンドウ位置とサイズを記憶する (Remember window position and size at exit)
 - ☐ 窓フォトを起動したときタスクトレイに格納する (Store window photo in taskbar when launched)
 - ☐ 窓フォトを閉じたときタスクトレイに格納する (Store window photo in taskbar when closed)
- 表示 (Display):**
 - ☐ 窓フォトコントローラを表示する (Display window photo controller)
 - ☒ 窓フォトのウィンドウを追尾する (Track window of window photo)
 - ☐ 範囲指定補助ボタンを表示する (Display range specification assist button)
 - ☐ ピンを表示する (Display pin)
 - ☒ 窓フォトのウィンドウを追尾する (Track window of window photo)
 - ☐ 自動保存後、ツイート画面を表示する (After automatic save, display tweet screen)
- ワンタッチソフトクラウド (One-touch software cloud):**
 - ☐ アップロード後に、ワンタッチソフトクラウドの画像のURLをクリップボードにコピーする (After upload, copy URL of image in one-touch software cloud to clipboard)

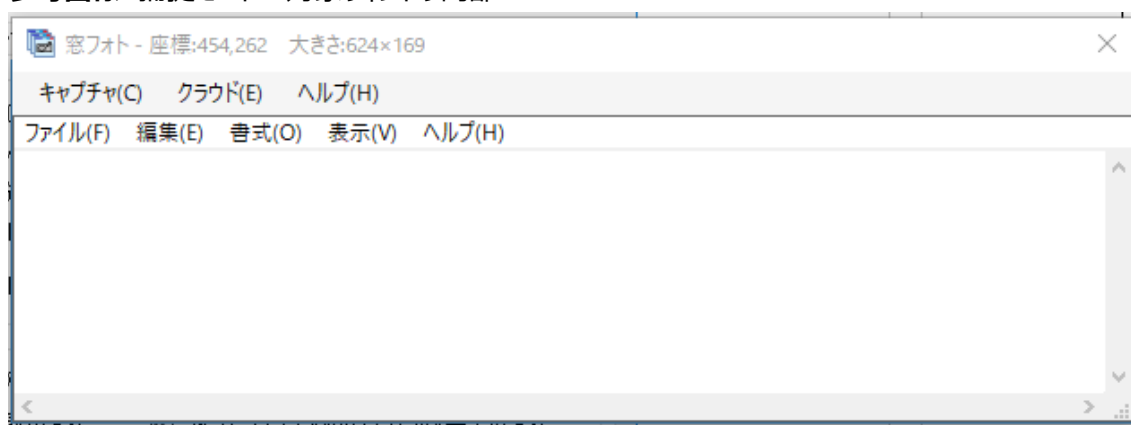
At the bottom of the window, there are three buttons: '設定情報をエクスポート' (Export settings information), '決定(A)' (OK), and 'キャンセル(C)' (Cancel).

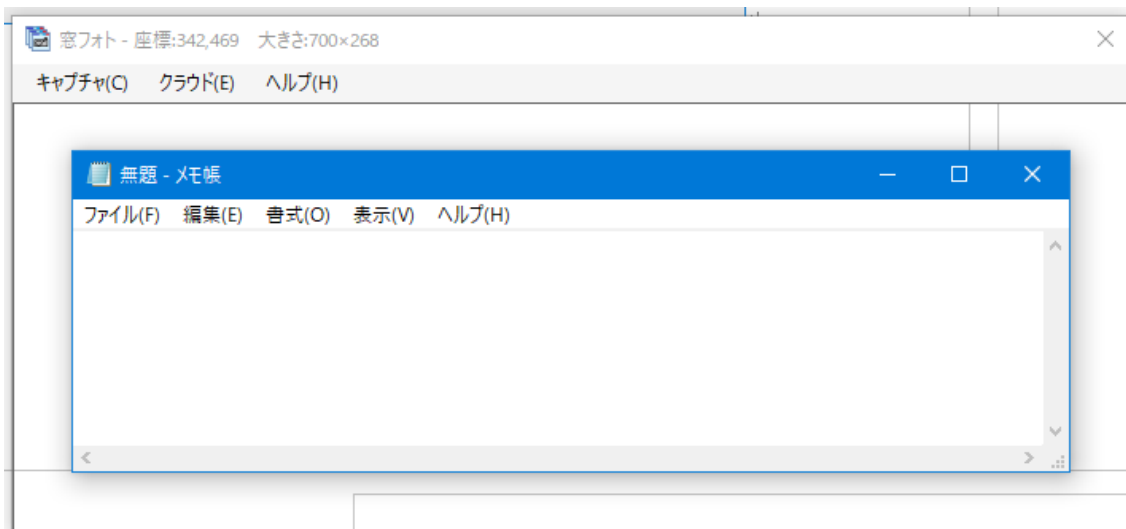
「自動捕捉」グループ	
アクティブウィンドウを自動的に捕捉する	窓フォトの範囲指定を、自動的にリアルタイムでアクティブウィンドウに合わせます。
捕捉モード：対象ウィンドウ全体	アクティブウィンドウを自動捕捉したとき、対象ウィンドウのタイトルバーや枠を含めた全体を捕捉範囲とします。
捕捉モード：対象ウィンドウ内部	アクティブウィンドウを自動捕捉したとき、対象ウィンドウのタイトルバーや枠を除いた部分を捕捉範囲とします。
自動捕捉範囲の補正	自動捕捉した範囲がずれる場合に補正できます。正の値をいれるとその分だけ広がり、負の値をいれるとその分だけ狭まります。

参考画像 捕捉モード：対象ウィンドウ全体



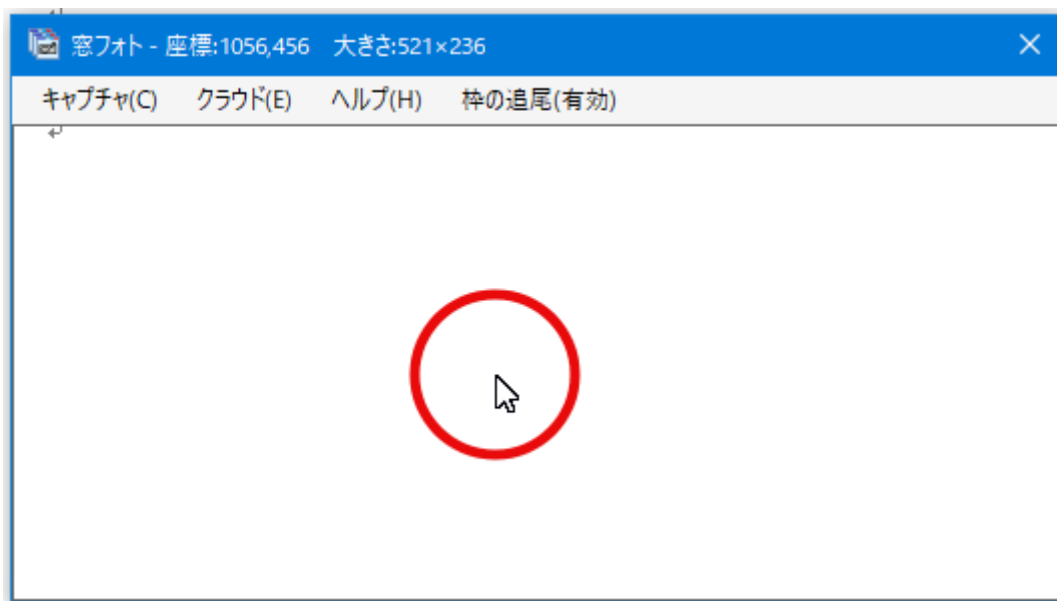
参考画像 捕捉モード：対象ウィンドウ内部



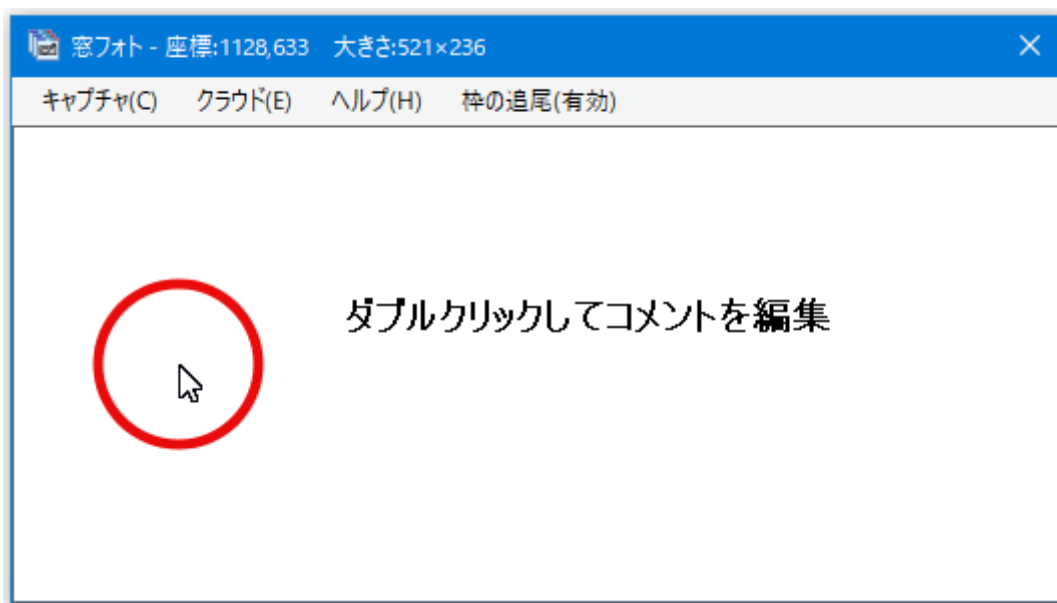
参考画像 自動捕捉範囲の補正 上下左右 30ピクセル設定

「動作」グループ	
マウスカーソルも一緒にキャプチャする	キャプチャする画像にマウスカーソルを含めます。仕様上、合成されるマウスカーソルは通常の矢印となります。
マウスカーソルの周囲に枠を表示する	マウスカーソルの周囲に、マウスカーソルを示す枠を表示します。
枠を表示したときコメントを表示する	マウスカーソルの周囲に枠を表示したとき、その枠の横に任意のコメントを付加します。
キャプチャエリアにグリッドを表示する	キャプチャ範囲選択部分にグリッドを表示します。
キャプチャ実行時にフォーカスを制御する	キャプチャを実行したとき、最後にアクティブだったウィンドウをアクティブにし直してキャプチャします。窓フォトがアクティブになってしまっても、対象ウィンドウをアクティブにして撮影します。
窓フォトを常に最前面に表示する	窓フォトのウィンドウを、他のどのウィンドウよりも手前に表示します。
ウィンドウリサイズ時にハンドルを再生成する	Windows Vista 以降の OS をお使いの場合、まれにウィンドウが操作できなくなることがあります。その際にこの機能を有効にすると、ある程度防ぐことができます。
終了時のウィンドウ位置とサイズを記憶する	「窓フォト」の終了時、そのときのウィンドウ位置とサイズを記録し、次の起動時にその位置と大きさで起動します。
窓フォトを起動したときタスクトレイに格納する	窓フォトを起動したとき、ウィンドウを表示せずにタスクトレイに格納します。
窓フォトを閉じたときタスクトレイに格納する	窓フォトのウィンドウを右上の×ボタンで閉じたとき、終了せずにタスクトレイに格納します。

参考画像 マウスカーソルの周囲に枠を表示する



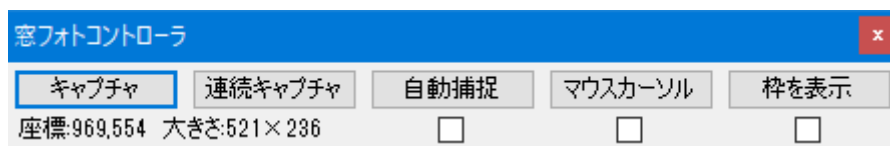
参考画像 枠を表示したときコメントを表示する



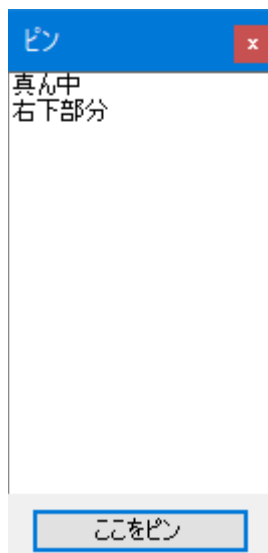
※コメントの編集は、「枠の追尾（有効）」を押下して枠を動かなくした後、コメント部分をダブルクリックすることで行えます。

「表示」グループ	
窓フォトコントローラを表示する	窓フォトの主要な操作をかんたんに実行できる「窓フォトコントローラ」を表示します。
窓フォトのウィンドウを追尾する	「窓フォトコントローラ」を、窓フォトのウィンドウにピッタリ付いていくようにします。
範囲指定補助ボタンを表示する	範囲指定をやりやすくする補助ボタンを、窓フォトのウィンドウ右下に表示します。
ピンを表示する	一時的に範囲指定の位置とサイズを記憶できる「ピン」を表示します。ピンに設定した位置とサイズ情報は、窓フォトを起動し直すとクリアされます。残したい場合は、「 お気に入りサイズ・位置 」をご利用ください。
窓フォトのウィンドウを追尾する	「ピン」を、窓フォトのウィンドウにピッタリ付いていくようにします。
自動保存後、ツイート画面を表示する	自動保存する設定にしている場合、自動保存後にその画像を Twitter に投稿できる画面を表示します。 Twitter に投稿するための設定は以下をご覧ください。 「Twitter に投稿するための設定」
アップロード後に、ワンタッチソフトクラウドの画像の URL をクリップボードにコピーする	ワンタッチソフトクラウドへの画像アップロード処理（自動・手動問わず）を行ったとき、その画像へアクセスする URL をクリップボードにコピーします。

参考画像 窓フォトコントローラ



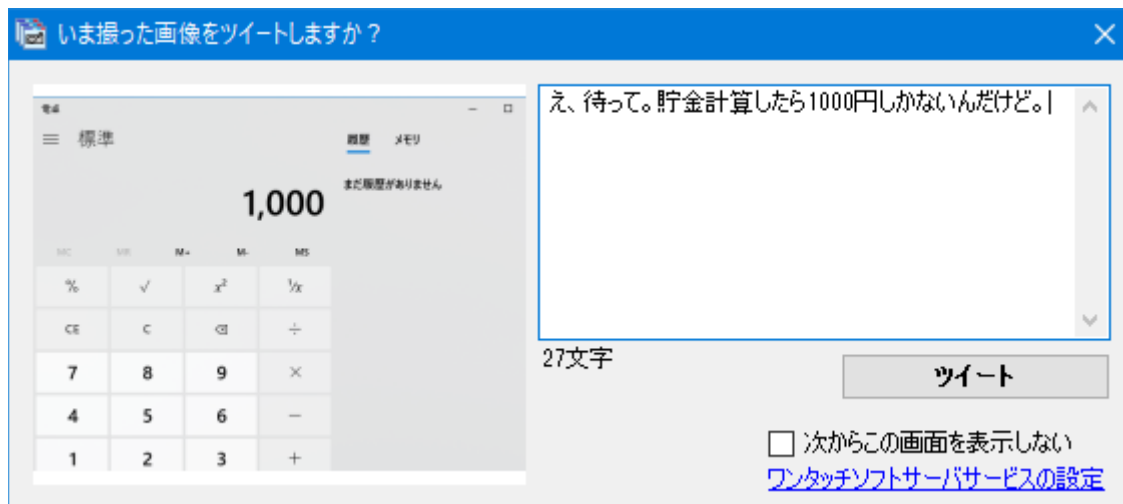
参考画像 ピン



参考画像 範囲指定補助ボタン

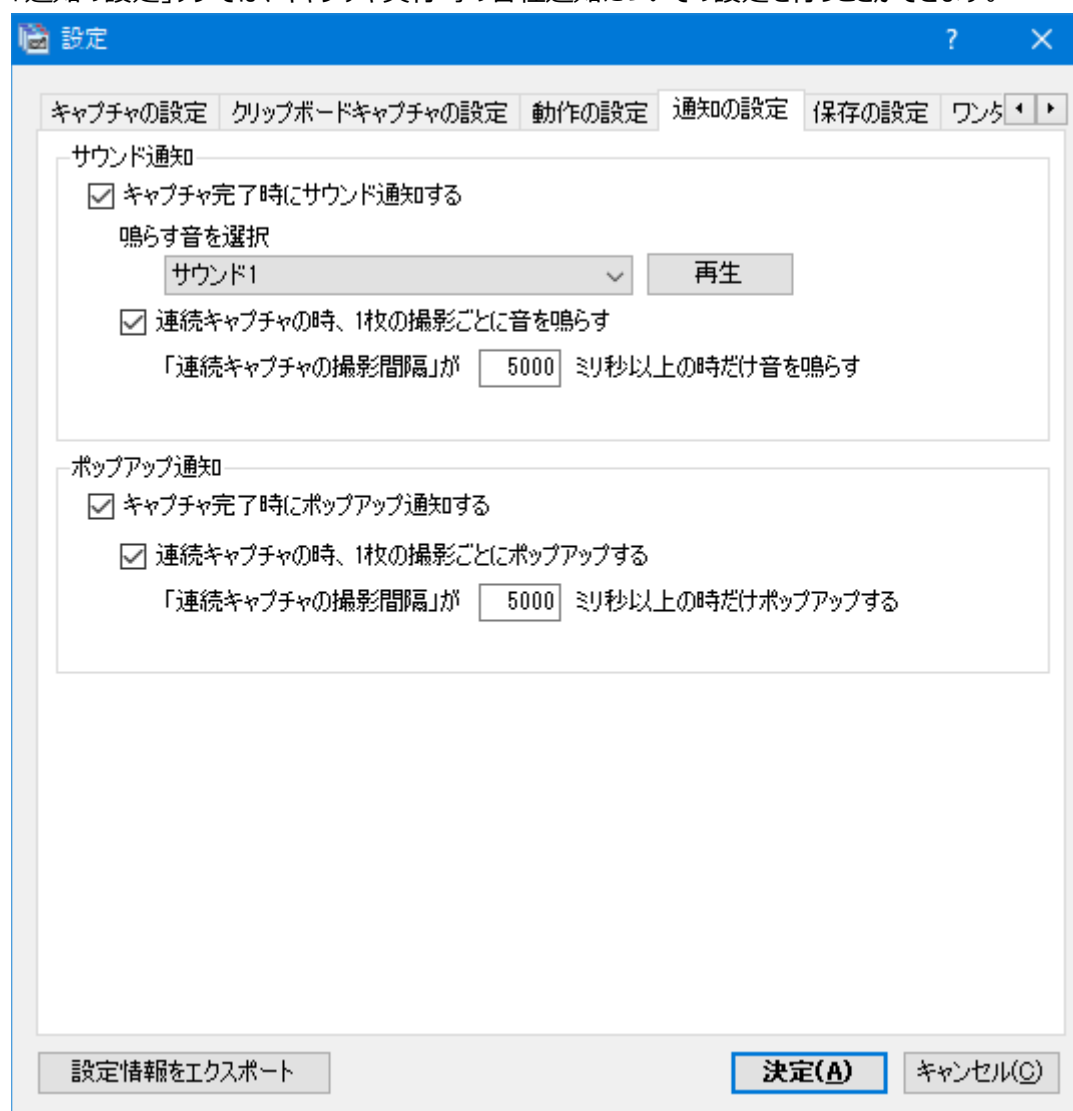


参考画像 ツイート画面



「通知の設定」タブ

「通知の設定」タブでは、キャプチャ実行時の各種通知についての設定を行うことができます。



「サウンド通知」グループ	
キャプチャ完了時にサウンド通知する	キャプチャが完了したときに、選択した音を鳴らします。
連続キャプチャのとき、1枚の撮影ごとに音を鳴らす	一連の連続キャプチャが終わったときではなく、連写1枚毎に音を鳴らします。1枚毎に音を鳴らす場合の、撮影間隔しきい値も設定できます。

「ポップアップ通知」グループ	
キャプチャ完了時にポップアップ通知する	キャプチャが完了したときに、ポップアップで通知します。
連続キャプチャのとき、1枚の撮影ごとにポップアップする	一連の連続キャプチャが終わったときではなく、連写1枚毎にポップアップ通知します。1枚毎にポップアップ通知する場合の、撮影間隔しきい値も設定できます。

「保存の設定」タブ

「保存の設定」タブでは、窓フォトでキャプチャした画像の保存に関する設定を行うことができます。

The screenshot shows the '設定' (Settings) window with the '保存の設定' (Save Settings) tab selected. The window has a blue title bar with a question mark and a close button. The settings are organized into sections:

- 通常キャプチャ (Normal Capture):**
 - デフォルトの保存先フォルダ: D:\Users\%OTS%\Desktop\ (with a '参照...' button)
 - デフォルトの画像保存形式: PNG形式 (dropdown menu)
 - ☒ ファイル名を自動入力する
 - ファイル名の書式指定: [年][月][日][時][分][秒] (dropdown menu)
 - ※[カウント] は下記の数字に置き換えられ、1ずつ加算されていきます。
 - カウントの現在値: 000000 (text input)
- 連続キャプチャ (Continuous Capture):**
 - 保存先フォルダ: D:\Users\%OTS%\Desktop\ren\ (with a '参照...' button)
 - 画像保存形式: PNG形式 (dropdown menu)
- JPEG画質設定(共通) (Common JPEG Quality Setting):**
 - A horizontal slider bar with a blue handle, ranging from 1 to 100. The value 100 is displayed in a box on the right.

At the bottom of the window, there are three buttons: '設定情報をエクスポート' (Export Settings Information), '決定(A)' (OK), and 'キャンセル(C)' (Cancel).

「通常キャプチャ」グループ	
デフォルトの保存先フォルダ	自動保存する場合はその保存場所、自動保存しない場合は「 キャプチャ画像の編集と保存 」画面で保存先として初期入力されるフォルダを設定します。
デフォルトの画像保存形式	自動保存する場合はその保存形式、自動保存しない場合は「 キャプチャ画像の編集と保存 」画面で保存形式として初期設定される保存形式を設定します。
ファイル名を自動入力する	自動保存しない場合「 キャプチャ画像の編集と保存 」画面でファイル名を自動入力します。自動保存する場合は必ずチェックする必要があります。
ファイル名の書式設定	自動保存する場合は保存ファイル名、自動保存しない場合は「 キャプチャ画像の編集と保存 」画面で保存ファイル名として初期入力されるファイル名を指定します。
カウントの現在値	ファイル名の書式設定で[カウント]を使う場合のカウント値を指定します。この値は、1回のキャプチャごとに加算されていきます。
「連続キャプチャ」グループ	
保存先フォルダ	連続キャプチャのときの保存先フォルダを設定します。
画像保存形式	連続キャプチャのときの保存形式を設定します。
「JPEG 画質設定(共通)」グループ	
画質設定バー	通常キャプチャや連続キャプチャ等を問わず、窓フォト上で JPEG 出力するときの画質を設定します。0（最低）～100（最高）まで選択できます。

「クラウドの設定」タブ

「クラウドの設定」タブでは、ワンタッチソフトクラウドとの連携に関する設定を行うことができます。

設定

キャプチャの設定 クリップボードキャプチャの設定 動作の設定 通知の設定 保存の設定 **クラウドの設定**

ワンタッチソフトクラウドのアカウント設定
ワンタッチソフトクラウドのアクセスキーとアクセストークンを設定してください。

自動取得して設定する...

アクセスキー:

アクセストークン:

[アクセスキーとアクセストークンがどこに書いてあるかわからない](#)

ワンタッチソフトクラウドとは
ワンタッチソフトクラウドは無料で利用できるクラウドサービスです。
窓フォトでキャプチャした画像を1クリックでクラウドに保存して、管理や共有ができます。
また、ワンタッチソフトクラウドのアカウントとあなたのTwitterアカウントを連携すると、窓フォトでキャプチャした画像をTwitterに投稿できるようになります。

アカウントを新規作成する...

[ウェブブラウザからアカウント新規作成](#)

設定情報をエクスポート

決定(A) キャンセル(Q)

「アカウントの設定」グループ

アクセスキー	ワンタッチソフトクラウド連携用のアクセスキーを設定します。
アクセストークン	ワンタッチソフトクラウド連携用のアクセストークンを設定します。
自動取得して設定する	すでにワンタッチソフトクラウドのアカウントをお持ちの方は、このボタンを押下してアカウント情報を入力すると、アクセスキーとアクセストークンを自動で入力できます。
アカウントを新規作成する	ワンタッチソフトクラウドのアカウントをお持ちでない方は、このボタンから簡単にアカウントの作成と窓フォトへの設定を行うことができます。

※ワンタッチソフトクラウドのアクセスキーやアクセストークンの取得、確認方法については、以下のページをご覧ください。

<https://cloud.otsoftware.net/doc/access.php>

※Twitter 連携機能の設定は以下をご覧ください。

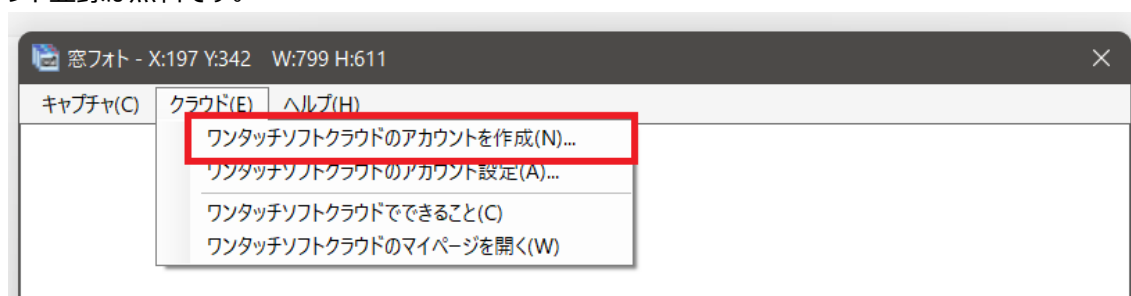
「[Twitter に投稿するための設定](#)」

Twitter に投稿するための設定

窓フォトから Twitter に投稿するためには、ワンタッチソフトクラウドアカウントの作成をおこなって窓フォトに設定した後、そのアカウントとあなたの Twitter アカウントを連携させる必要があります。

1. ワンタッチソフトクラウドのアカウントを作成する

「クラウド」メニューから「ワンタッチソフトクラウドアカウント作成」を選択し、アカウント登録を行います。アカウント登録は無料です。



この画面からアカウントを作成すると、あなたのワンタッチソフトクラウドアカウントが自動的に窓フォトに設定されます。

この画面ではなく、ワンタッチソフトクラウドのウェブサイトからアカウントを作成することもできます。

2. ワンタッチソフトクラウドアカウントと Twitter を連携させる

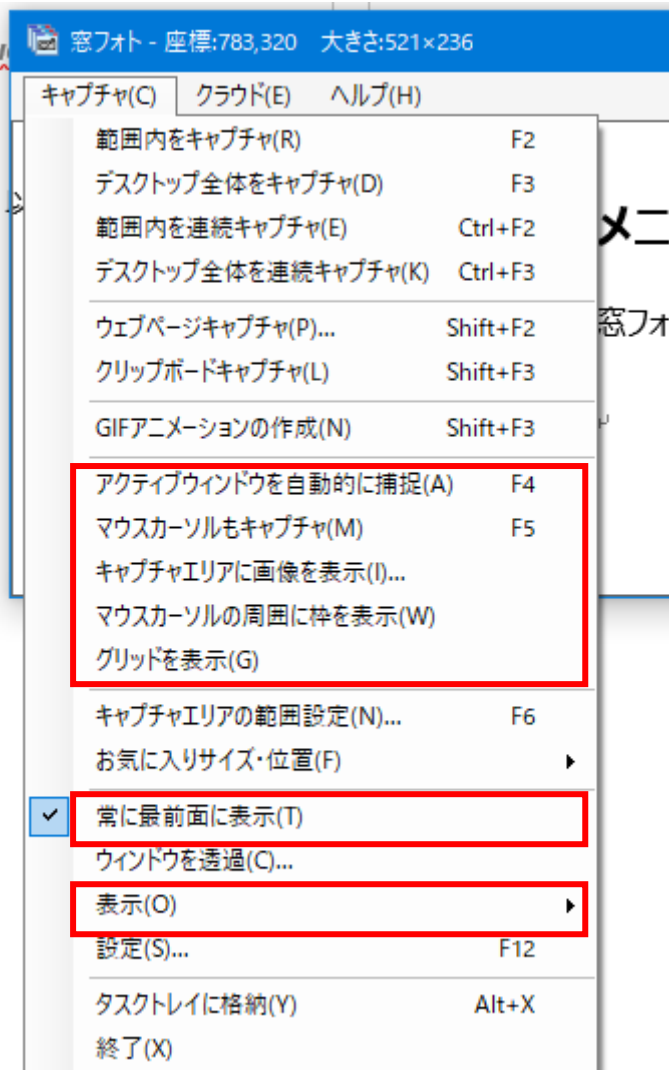
作成したワンタッチソフトクラウドのアカウントと、あなたがお持ちの Twitter アカウントを連携させます。連携させるには、ワンタッチソフトクラウドのウェブサイトログインして設定する必要があります。詳しくは以下のページをご覧ください。

<https://cloud.otsoftware.net/doc/use.php>

以上の手順を一度行うことで、今後は「[キャプチャ画像の編集と保存](#)」画面や、「[ツイート画面](#)」からワンタッチで Twitter に投稿できるようになります。

メニューからの設定変更について

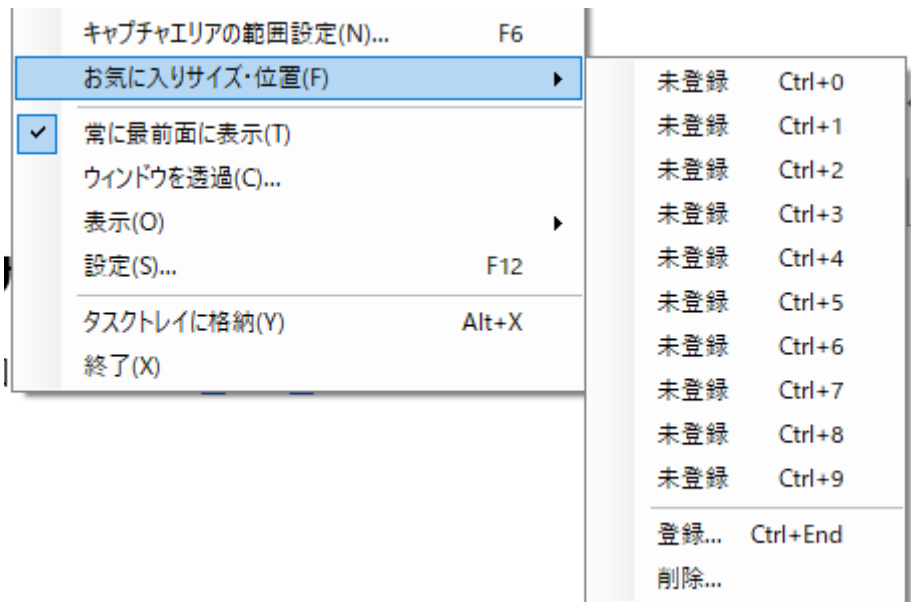
設定画面から設定できる項目の一部が、メニューからも設定できます。



これらの設定は、**一時設定**という扱いになり、窓フォトを起動し直すとリセットされ、設定画面での設定に戻ります。恒久的な設定したい場合は、設定画面から設定してください。

お気に入りサイズ・位置

窓フォトには、範囲指定したサイズと位置を記録しておける「お気に入りサイズ・位置」機能があります。



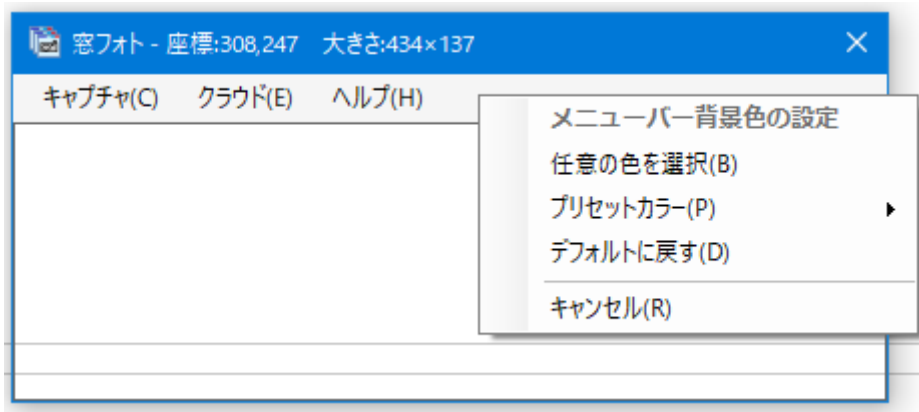
「お気に入りサイズ・位置」は最大 30 個まで登録でき、窓フォトの範囲指定を素早くその位置とサイズにすることができます。

その他の便利な操作等

窓フォトには、細々とした便利な操作がいくつか搭載されています。

メニューバー背景色の変更

メニューバー部分を右クリックすると、背景色の変更ができます。



クリップボードコピー設定のワンタッチ切り替え

メイン画面上でキーボードの F7 キーを押下すると、設定画面を開かなくても、クリップボードコピー設定のオン/オフを切り替えることができます。

自動保存設定のワンタッチ切り替え

メイン画面上でキーボードの F8 キーを押下すると、設定画面を開かなくても、キャプチャ画像自動保存設定のオン/オフを切り替えることができます。

こんな風に使いたい

やりたいこと別に、設定方法をまとめました。

キャプチャした後、保存画面を出さずに勝手に保存してほしい

設定画面から以下のように設定してください。

【手順 1】[設定画面から保存先等を設定する](#)

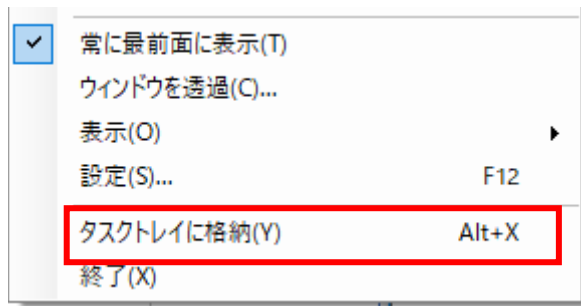
【手順 2】[自動保存するよう設定する](#)

いつもは窓フォトの画面を隠しておいて、使いたいときだけサッと表示させたい

普段は窓フォトタスクトレイに最小化（格納）しておき、必要なときにタスクトレイのアイコンをダブルクリックして呼び出したりすることができます。以下のように操作または設定画面から設定してください。

【方法 1】

「キャプチャ」メニューの下の方にある「タスクトレイに格納」を押下して都度格納する



【方法 2】

[初めからタスクトレイに格納して起動し、使いたいときだけ呼び出すように設定する](#)

【方法 3】

[「×」ボタンで窓フォトを閉じたときにタスクトレイに入れるように設定する](#)

お問い合わせ等について

窓フォトについてのご質問や不具合報告、ご要望などがございましたら、以下のページよりお問い合わせください。

<https://www.otsoftware.net/support.html>